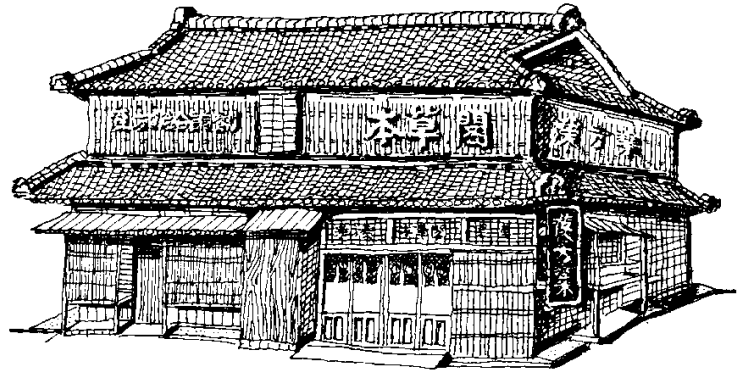


# 本草閣 かわら版

第58号

平成15年5月15日発行



漢方の本草閣 本店  
〒460-0012  
名古屋市中区千代田5-21-17  
(JR 鶴舞駅西)  
JR中央線・地下鉄 鶴舞駅下車  
TEL 052-241-3388  
FAX 052-241-3443

漢方の本草閣 緑店  
〒458-0016  
名古屋市緑区上旭1-622  
(滝の水公園西)  
名鉄バス滝の水口下車 徒歩約5分  
TEL 052-899-0221  
FAX 052-899-0236

<http://www.honsoukaku.co.jp/>  
E-mail: kanpou@honsoukaku.co.jp

<http://www.honsoukaku.co.jp/>  
E-mail: midori@honsoukaku.co.jp

## キノコについて

今、世間ではアガリクス茸をはじめいろいろなキノコ類が話題にのぼり、治療の目的に使われています。このキノコ類にはどのようなものがあるのでしょうか。

もともと霊芝やアガリクスなどは菌類の真菌類の担子菌類中に分類されます。もっと細かく分類しますと、

マンネンタケ科・・・霊芝、コフキサルノコシカケ

タバコウロコタケ科・・・メシマコブ

ハラタケ科・・・アガリクス、マッシュルーム

シメジ科・・・マツタケ、エノキタケ

のようになります。

アガリクスはブラジル原産のキノコで、学名を「アガリクス・ブラゼイ・ムリル」という担子菌類ハラタケ目ハラタケ科のキノコです。昭和40年ころアメリカにて研究発表が行なわれ、レーガン元大統領が使用したことで話題になりました。

メシマコブは古くより「桑黄(そうおう)」と呼ばれ、漢方薬として利用され「神農本草経」に記載があります。その内容は「久服軽身不老延年」とあり、「長年煎じて飲めば体が軽くなる不老長寿」の薬と説明しています。

その他多くのキノコ類が昔から民間療法として飲まれています。興味のある方は、ぜひ一度店頭にてご相談ください。

## 第6回 オオバコ (車前草)

オオバコ (オオバコ科) は、別名を車前草ともいい、その種子を車前子といいます。

オオバコは大葉子からきた名で、その葉の大きいことからその名がつき、オオバコの別名の車前草は、よく道端の牛馬車の輪の跡のほとりに生える草との意味で、その名がつきました。

服用の仕方は1日量10gを水300mlを加え約半量になるまで煎じつめたものをこして、1日3回に分けて飲みます。

その薬効は、利尿・腫れ物・咳止め・下痢止めです。特に咳止めには、甘草を3g加えて煎用するとより効き目がよくなります。

### 漢方の治療法

病院などの現代医学の治療をおこなっても良くならなかった方や、治療法のないような方が漢方薬にて良くなることがあります。なぜ漢方薬を飲むことで症状が良くなるのでしょうか。

漢方の考え方として、病気は体の中に‘毒’が生じて、その‘毒’のために症状や病気が出てくると考えます。その‘毒’にもいろいろな‘毒’がありますが、その代表的なものが血毒、つまり血液の汚れです。

血毒に限らず、体内に生じた‘毒’を排除するために行なう治療法が発汗・吐・下です。つまり汗をかく・吐く・排便や小便を促がすことで、体内の‘毒’を外に排出し病気を治す訳です。

これらの考え方をもとに患者さん体質を考慮に入れながら治療法を考えていくのが漢方の治し方です。この考え方は現代医学には全くない考え方で、だからこそ漢方薬で良くなる方がみえる訳です。

一般的にも血液をキレイにすることが、病気の予防にもなり治療にもなることが常識になっていますが、漢方では2000年も前から当たり前のようになってきたのです。

[文責 水野 英章]

#### 漢方の本草閣 緑店 定休日のお知らせ

漢方の本草閣 緑店は年中無休で営業しておりましたが、平成15年6月1日(日)より本店同様に、

日曜、祝祭日を定休日

とさせていただきます。

どうぞご理解、ご了承くださいませよう、お願い申し上げます。